

臨床研究等の情報公開

研究課題名	青森市民病院におけるメロペネム供給不足の影響について
研究機関	青森市民病院 医療技術局 薬剤部
研究内容	2023年1月から2024年1月にかけて当院はメロペネム供給不足による新規処方制限を行い、その期間は代替薬としてチエナム(チエクール)、タゾピペ、レボフロキサシン注を薬剤部より提案し、対応を行いました。今回は代替薬使用量の変動および血液培養陽性患者死亡率、緑膿菌感性率の変動を比較する事によりメロペネムの処方制限が当院へ与えた影響を評価します。
実施期間	研究倫理委員会承認日～2026年3月31日
対象者	2021年12月1日～2025年2月28日にメロペネム、チエナム(チエクール)、タゾピペ、レボフロキサシン注を投与された患者。 2021年12月1日～2025年2月28日に血液培養陽性となった患者。 2021年12月1日～2025年2月28日に菌体検査で緑膿菌が検出された患者。
実施方法	メロペネム新規処方制限期間(2023年1月～2024年1月)とその前後13ヶ月をそれぞれ正常期、制限期、再開期の3群に分け、それぞれの期間におけるチエナム(チエクール)、タゾピペ、レボフロキサシン注の使用量、血液培養陽性患者の培養陽性後30日以内の死亡率、緑膿菌の薬剤感性率について比較を行い、統計学的解析を行います。
参加撤回の自由	患者さんが解析対象になる事を望まない場合、研究対象から除外します。その場合、診療において不利益となる事はありません。
問合せ先	研究に関するご質問、資料などについての問い合わせは下記にご連絡ください。 研究責任者 佐藤 貴紀 030-0821 青森市勝田 1-14-20 青森市民病院 医療技術局 薬剤部 電話 017-734-2171 内線 6131